学校番号	3032B

令和８年度　ビジネス科

教科	ビジネス	科目	(学)ドローン入門Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次後期
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ドローンの操作や空撮に興味がある生徒
外部機関と授業を行うため、積極的に参加できる生徒
一定以上の PC スキルがあること
前期科目「ドローン入門 A」を受講していること

2　学習の到達目標

①ドローンの基本的な知識を理解する。
②ミニドローン操縦法を体得する。
③PC を使った動画編集を習得する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ドローンを構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識および観察・実習の技能を習得し，実際に活用できる能力と態度が身についている。	ドローンを構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識・技術に課題等を見つけ出し，自ら思考・判断し，創意工夫して課題解決する能力が身についている。	ドローンを構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち，意欲的に探究するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		1.ドローンの構造と航空法に基づく規制を理解することで、ドローン活用の基礎知識を学ぶ 2.撮影用ドローン、産業用ドローンの活用事例を知ることで、ドローンの活用場面を学ぶ 3.飛行許可が不必要なトイドローンを利用したドローン操縦の基礎技術を習得 4.撮影した動画を元の PC を使って加工・編集を学ぶ ・ドローン操縦、[実技](基本操作3) ・安全運航、[実技]ミニドローンの曲芸飛行 ・ドローンの活用方法、[実技]空撮から編集	a: ドローンの普及にともなう経済性・安全性・環境等にかかわる知識を習得する b: 自ら思考を深め，最適な数理処理を活用し，適切な判断に基づいて創意工夫しながら数値処理を行う能力が身についている。 c: 意欲的に探究するとともに，主体的に学習に取り組む態度が身についている。	学習状況の観察 ワークシート 実習	学習状況の観察 ワークシート 実習	学習状況の観察 ワークシート 実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度